



SASEBO WEEKLY

佐世保ロータリークラブ 会長・橘高 克和 幹事・石井 正剛
 事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
 例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
<http://www.sasebo-rc.jp/> E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 22 年 4 月 28 日

第 2,930 回例会

NO 39

《本日》会員数 75名 (出席免除会員 22名) ・出席 39名 ・免除者出席 11名 ・欠席 14名 ・ビジター 0名 ・出席率 66.70%

《前々回》会員数 75名 (出席免除会員 22名) ・出席 38名 ・メークアップ 14名 修正出席率 98.70%

会長挨拶

会長 橘高 克和 君

最近、日本語が乱れているという事で「ことばおじさんのナットク日本語塾」とか、漢字力アップ等、日本語を見直す事を意識した番組がたくさんあるようです。先日もNHKラジオに、そのことばおじさんこと、梅津正樹さんが出演されていました。似たようなお話が島原の地区大会での、草野 仁さんの講演でもあったと思います。

新人アナウンサーが、「お彼岸団子」を「カレキシ団子」と発音した話がありました。他にも最近のTVを見ていると、多くの人がインタビューの時などに「ら」抜き言葉で話しています。あと10年もしたら、「ら」抜きが当たり前になるのではと思心配です。

そういう私も、このロータリー例会で大恥を掻いた事があって、今でも思い出すと赤面する感じです。どういう事かと言いますと、確か入会間もない頃に、この前に立って、何かの案内をしていました時に、「日時」は何々…を「ヒジ」は、と発音していました。そんな事で、時々間違いやすい日本語等の本を読みますが、間違っって遣っている言葉が多くありますので用心しなければと思っています。

ほんの一例ですが、

【誤】愛想をふりまく

⇒【正】愛嬌をふりまく

【誤】足げりにする

⇒【正】足げにする

【誤】怒り心頭に達する

⇒【正】怒り心頭に発する

【誤】笑顔がこぼれる

⇒【正】笑みがこぼれる

【誤】汚名を挽回する

⇒【正】汚名を返上する／名誉を挽回する

【誤】舌の先の乾かぬうちに

⇒【正】舌の根の乾かぬうちに

【誤】白羽の矢をあてる

⇒【正】白羽の矢を立てる

【誤】寸暇を惜しまず

⇒【正】寸暇を惜しんで

例会記録

○ロータリーソング「それでこそロータリー」

○卓話者

パールシーリゾート(株)

取締役水族館事業部長

水族館館長 川久保晶博様

幹事報告

幹事 石井 正剛 君

1. 第2740地区ガバナー 高城 昭紀 君

地区幹事 高木 義和 君

「ハイチ及びチリ大地震被害義援金のお礼とご報告」

ハイチ義援金 \$15,342.67 送金

チリ義援金 地区資金の世界社会奉仕資金よりお一人1口100円送金

2. 地区ローターアクト委員長 藤岡 良規 君
 長崎北ロータリークラブ会長 戸北 悦生 君
 地区ローターアクト代表 村上 和哉 君
 長崎北ローターアクトクラブ会長
 溝淵 英之 君
 第28回年次大会実行委員長
 山口 斉子 さん

①第28回年次大会ご案内

- 1日目 日時／平成22年6月5日(土)
 登録開始 14:30
 会場／平安閣サンプリエール
- 2日目 日時／平成22年6月6日(日)
 登録開始 8:00
 会場／長崎歴史文化博物館
- | | |
|---------|---------|
| 登録料／1日目 | 5,000円 |
| 二次会 | 2,000円 |
| 宿泊 | 5,000円 |
| 2日目 | 3,000円 |
| 全登録 | 15,000円 |

- ②第28回年次大会における提唱RC負担金振り込みのお願い
 クラブ負担金 50,000円

3. RI第2720地区(大分・熊本)1995年パストガバナー 前岡 志郎 君
 「日本RC認証順位一覧」3版 平成22年4月

4. 国連UNHCR協会(国連難民高等弁務官事務所) 支援のお願い

5. 佐世保市企画部国際政策課長
 「平成22年度中国高校生訪日団」にかかるホームステイへのご協力について(依頼)
 日程／平成22年5月21日(金)～22日(土) 1泊2日
 内容／高校生20名(1家族1～2名)

6. 社会福祉法人 長崎県障害者福祉事業団
 理事 西 司 様
 「つくも苑」事務局長・施設長交代のお知らせ
 (新)事務局長兼施設長 佃 晃 様

7. 海上自衛隊佐世保地方總監部
 機関紙「西海」の送付

委員会報告

■財団奨学・米山委員会委員長 鬼木 和夫 君
 ロータリー財団へ石井正剛君よりご寄付いただきました。(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

■親睦活動委員会 委員長 古賀 巖 君
 会員名簿作成について
 2010～2011年度会員名簿の作成にあたり、確認をさせていただきます。訂正のある方はFAXかメールでご提出ください。

朗遊会より

朗遊会幹事 加納洋二郎 君
 市内8RC親睦ゴルフ大会の出欠をお願いいたします。締め切りは5月10日です。
 日時／平成22年5月23日(日) 8:00スタート
 場所／佐世保カントリー倶楽部 石盛岳コース

ロータリー3分間情報

ロータリー情報委員会 委員長 下田 弥吉 君
 「ロータリーソングについて」
 ロータリーソングは世界で144曲あると言われております。日本で現在歌われている「奉仕の理想」や「我等の生業」は1935年に作られました。戦後に作られたロータリーソングとしては、1951年に「手に手つないで」が、1953年に「それでこそロータリー」が作られています。

さて今日は、「奉仕の理想」のロータリーソングとしての成立の経緯をお話したいと思います。

時は1920年(大正9年)10月20日、東京に初めてRCが創立され、続いて大阪、神戸、名古屋、京都、そして台北、奉天等外地にも設立され、1930年には11のRCが誕生しました。

当時は、例会で歌うソングは全て英語の歌詞でした。1930年の神戸の地区大会で奉天RCの提案による「日本語によるロータリーソングを作ること」が採択されました。

1935年の京都の地区大会で募集した、新作のロータリーソングの発表が行われ、第1位に

選ばれたのが「奉仕の理想」でした。「我等の生業」もそのときに選ばれています。

ここで面白いエピソードがあります。

作詞者の前田和一郎氏は、京都RCの会員でした。「奉仕の理想」の原詩は、「奉仕の理想に集いし友よ 世界に捧げん 我等の生業」でした。

当時のガバナーは村田省蔵氏で、有名な国粹主義者で愛国心が特に強く、歌詞の中で「世界に捧げん」を「御国に捧げん」に変えなければ当選は無効という通達を出しました。

作詞者の前田和一郎氏は涙を吞んで変更を承認されたそうですが、逝去される際、親しい友人を呼んで「もし出来ることなら、何時の日にか、原詩の『世界に捧げん』に戻して頂ければ有り難い」と言ったのが、遺言であったと言われていました。

慶 祝

親睦活動委員会 米倉洋一郎 君

○結婚記念月のお祝い

安部 直樹・恵美子 様ご夫妻 (1日)
曾我 勝宣・節子 様ご夫妻 (10日)
平尾 幸一・透江 様ご夫妻 (14日)
円田 昭・美和子 様ご夫妻 (20日)
高田 俊夫・伸子 様ご夫妻 (23日)
原田 孝・京子 様ご夫妻 (24日)
石井 正剛・佳子 様ご夫妻 (28日)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 小川 芳寛 君

橋高 克和 会長、福田 金治 君
田中丸善弥 君、加納洋二郎 君
原田 孝 君、古賀 巖 君
納所 佳民 君、遠田 公夫 君

パールシーリゾートの川久保晶博さんの卓話に期待して。

遠田 公夫 君

去る4月22日の株主総会で新社長を選任、私は会長として引き続き頑張っ参ります。
よろしくお願い致します。

安福鴻之助 君

先週の輪飲会には、全くお酒を飲めない下戸の橘高会長、福田さんにも参加して頂き、ありがとうございました。

ご参加の皆さん方、2500年前の製法で造られたワインの味はいかがでしたでしょうか？特別おいしいものではないけど、ふむふむ！古代ローマ人はこんな味のワインを飲んでいたのか…と、納得して戴けたものと思います。

平尾 幸一 君、円田 昭 君
高田 俊夫 君、石井 正剛 君
原田 孝 君

結婚記念日のお祝いありがとうございます。

◇
ニコニコボックス 本日合計 15,000円
累 計 793,000円

卓 話

『九十九島の自然と水族館』

パールシーリゾート(株)
取締役水族館事業部長
水族館館長 川久保晶博 様



昨年7月18日にオープンした西海国立公園九十九島水族館「海きらら」。今年3月31日までの入館者数は、計画を大きく上回り56万人でした。うれしい誤算となりました。

海きららの展示テーマは地元の海 九十九島です。九十九島の海にはペンギンやラッコなど目立つ生きものはいませんが、海岸周辺に多くの種類の小さな生きものたちが住んでいます。九十九島の海岸線延長は353km、その内自然のままの海岸は288km (81.5%) です。この自然の

ままの海岸が多くの生きものたちを育む環境となっています。

このような自然を紹介する「海きらら」ですが、前身である西海パールシーセンター時代から入館者数が微増しつづけてきました。この間、増築などハード面の投資はなされていません。なぜ増え続けたのか、はっきりとは分かりませんが周囲からよく聞こえてきたのが「パールシーは元気ですね」という言葉。イベントや自然調査による情報など様々な情報発信をしてきたのが大きな要因のひとつではと思っています。

今日は水族館が取り組んでいる自然調査や情報発信、普及活動をいくつか紹介いたします。

1. 自然調査

《サンゴ調査》

潜水による調査で、九十九島の内湾や沖合でサンゴの群落を確認しています。どのような種類のサンゴが生息しているのか定期的に潜って調べています。

《カブトガニ調査》

九十九島には「生きた化石」と呼ばれているカブトガニが生息しています。生息数が急激に減少していて、環境省が絶滅危惧種に指定しています。九十九島海域に産卵場があり、毎年産卵にくるカブトガニのつがい数を記録しています。

《海岸生物の調査》

海岸にすんでいる水生動物の種類を調査しています。他の地域に比べはるかに多くの種類の水生動物がすんでおり、エビ・カニの仲間63種、貝の仲間120種が確認されています。



パールシーリゾート「海きらら」バックヤード見学

2. 情報の整理・発信

《マスコミへ発信》

調査で得られた情報は新聞やテレビなどマスコミを通じて一般の人々にひろく発信していきます。

《学会へ発信》

学会へ論文発表や口頭発表して有識者へ九十九島の自然を認知していただきます。また学会誌に記録を残すことによって、情報の正式な蓄積になります。

《特別展など展示での発信》

展示を通じて、九十九島の自然情報を分かりやすく発信していきます。

3. 地域住民への普及活動

《ボランティアガイド研修》

ボランティアガイドを対象に、九十九島の自然についての研修を実施して理解を深めてもらい、ガイド活動に反映させていただきます。

《館内での普及活動》

水族館を訪れる学校団体に対し、レクチャーを実施して九十九島の自然に対する理解を深めてもらいます。

《ゲストティーチャー》

学校などに出向き、生きものやスライドを使用して、九十九島の自然についてレクチャーを実施しています。



* 次回例会予告 *

5月5日 祝日休会

5月12日 (財)大村市振興公社 常務理事
シーハットおおむら 館長
村嶋寿深子 様

「My Broadway ～ 私が歩んだ道」

(今週の担当 納所 佳民)

クラブ会報委員会

委員長 芹野 隆英
副委員長 平尾 幸一

委員 池田 誠・小川 芳寛
納所 佳民